



地下に地下鉄が通る防火地域に実現した 5層構造の家

細部まで美意識にこだわったRC造住宅で快適に暮らす

施主様の土地は、立地は防火地域、段差5mひな壇状、下には地下室が通るといった厳しい条件でした。そこで、鉄筋コンクリート造による基礎組みが決定され、杭には摩擦杭を用いることで更に強靱なタッグとなりました。結果、地下1階のビルトインガレージを含めた5層構造の住まいが出来上がりました。上の画像は、日本舞踊の世界で長年活躍してきたという施主様のために広々とした舞台を設置いたしました。この広々とした緊張感のある空間のほかにも、細部まで施主様のこだわりの内装に仕上がっています。



客間として利用できる部屋は、居住スペースとは分離されているため、将来分譲や賃貸にすることも可能です。



和の気品あふれる玄関は、エントランスから畳敷きの廊下が出迎える斬新な造りとなっております。鉄平石は斜めに敷かれ、水屋を設けるなど、こだわりが見え隠れします。



階段脇にはエレベーターが設置されており、バリアフリーにも配慮されています。上は吹き抜けが高く、開放的となっております。



屋上代わりのルーフバルコニーは、階下用のトップライトが配置されています。4層構造ならではの高さからの眺めは気持ちのいいものです。